【特集】栗原で描いた青春～全日本中学生ホッケー選手権大会～

8月20日(土)から22日(月)までの三日間、中学生ホッケーの全国大会が、栗原市で初めて開催されました。

今月は、市と縁ある競技、ホッケーについて、選手の活躍と併せて紹介します。

ホッケーとのつながり

平成2年に行われた宮城インターハイで、旧栗原郡築館町と若柳町が、ホッケー競技の開催地となりました。その後、平成13年宮城国体では、旧栗原郡築館町と一迫町がホッケー競技の開催地に選ばれ、それぞれの町に人工芝競技場が整備されました。

これら大きな大会の経験と、新たな開催に向け、市内のホッケー競技普及と選手の強化を行うべく、平成8年築館中学校、平成10年一迫中学校にホッケー部が創部されました。

栄光の記録

過去の全日本中学生ホッケー選手権大会では、平成16年に築館中学校女子が優勝。平成18年には男子の試合で、一迫中学校が優勝、築館中学校が準優勝しました。生徒たちは他にも、全国大会への出場や、国際試合の日本代表選手に選出されるなど、数々の活躍をしてきました。

また市出身者では、三橋 亜記さん(築館地区出身)がロンドン、リオデジャネイロ、東京と、3大会連続でオリンピックに出場。狩野 真美さん(一迫地区出身)が第18回アジア競技大会ホッケー女子に出場し、日本の初優勝に貢献されています。

青春の舞台を栗原で

今回の第52回全日本中学生ホッケー選手権大会は、築館多目的競技場と一迫多目的広場の2会場で開催され、全国から男女24チームが参加しました。コロナ禍のため無観客開催で、応援は感染防止対策の上、一部チーム関係者のみ可能としました。

大会では、スローガンに栗原西中学校1年佐藤 弘翔さんの「勝ち取れ！ホッケー日本一」が、プログラムの表紙には、築館中学校3年後藤 花楓さんの作品が採用されました。

また、築館会場の入り口には、築館中学校の生徒が七夕をモチーフに制作した看板が掲示され、訪れた選手を歓迎しました。

▲大会プログラムの表紙

築館中学校3年
後藤 花楓さん

栗原西中学校1年
佐藤 弘翔さん

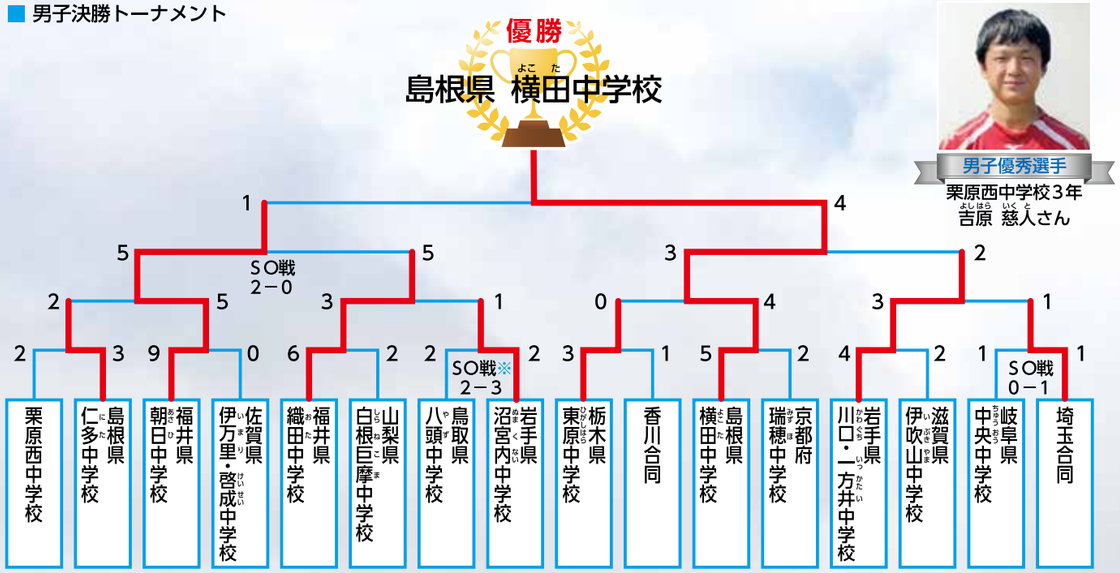
▲鳴り物で応援する関係者

▲会場を彩った築館中学校生徒制作の歓迎看板

第52回全日本中学生ホッケー選手権大会　大会結果

■ 男子決勝トーナメント

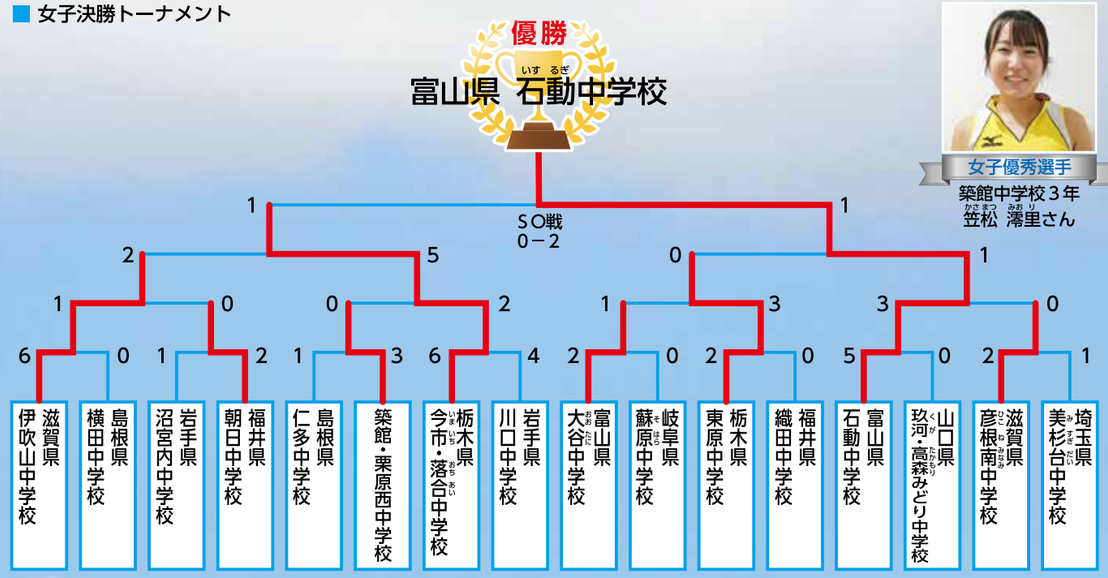
男子優秀選手
栗原西中学校3年
苦原 慈人さん



※SO(シュートアウト)戦…同点の場合に行われ、3人ずつゴールキーパーと1対1の攻防を行う。

■ 女子決勝トーナメント

女子優秀選手
築館中学校3年
笠松 澪里さん



8月20日(土)の予選を勝ち抜いた男女各16チームが、21日(日)の決勝トーナメントに進みました。22日(月)には準決勝と決勝戦が行われ、男子は島根県奥出雲町立横田中学校が、女子は富山県小矢部市立石動中学校が優勝しました。

栗原市から出場した、男子の栗原西中学校と、女子の築館・栗原西中学校は、全国の強豪相手に予選を突破し、決勝トーナメントに進みました。予選ブロック1位の男子は、初戦で粘り強い戦いを見せましたが、惜しくも敗退しベスト16。予選ブロック2位の女子は2回戦で、準優勝の栃木県今市・落合中学校と対戦し、健闘を見せるも敗れ、ベスト8となりました。

最後まで諦めずボールを追う姿に、会場からは拍手が沸き起こりました。

▲3位まで入賞したチームが参加した表彰式